

# 退職金で資産運用を始めたい。 どのくらいの金額から 始めたらいい？



## 保有する資産を 目的別に配分し 利回りを決める

込んでいく作業は、アドバイザーを行う側のFPにとっても、お客様のことを深く理解し、具体的な運用目標を定めるために欠かせない。

インフレに強いとされる株式やコモディティなどを組み込んで、資産全体のインフレ耐性を強めることが必要になると思います。

## 解説

老後資金のような、大切な資金の運用を始めるにあたっては、「いくらから始める」ということよりも、まずは「将来に向けたライフプランの検討」をしっかりと行うことが大切になる。十分なシミュレーションを行ったうえで今後の収支をキャッシュフロー表に落とし

## こんなトークで こたえよう



退職金など大切な資金で運用を始めたいという場合、どのくらいの金額から運用を始めるかも重要ですが、その前に、まずは今後のご自身のライフプランについて、改めてご検討されることが大切かと思えます。

今後の働き方をはじめ、どんな生活を将来的に送りたいのかを、ご自身で改めてお考えになったうえで、保有されているご資産を、いつでも引き出せるお金、使い道が決ま

っているお金、安定的に運用するお金、積極的に運用するお金の4つに分けてみることをおすすめします。それぞれの配分が決まれば、そこから運用目標も定まり、それぞれの配分ごとに運用する金額も見えてきます。

実際に運用を行っていくうえで注意すべき点としては、インフレ対策が挙げられます。昨今は米国でも実質金利はマイナスの状態が続いており、退職金を預金に預けているだけでは資産は目減りしてしまいます。そのため、イ

このライフプランシミュレーションの過程でポイントとなるのが、保有している金融資産を目的別に配分すること。そのうえで、資産ごとに目標とする運用利回りを決めるようにしたい。各資産の位置づけはこのようになる。

1. 流動性資金……いつでも引き出せるお金

日常生活で使うお金や突然の急な出費などに備えておくもので、半年分程度の生活費を目安にするとうい。

2. 使用予定資金……使い道が決まっているお金

使用予定資金は、住宅のリフォームやクルマの購入、子どもの結婚援助など、数年以内に使うこ